

2022年3月期
第2四半期決算補足
説明資料

2021年11月16日
株式会社 ユタカ技研

Ⅰ．2022年3月期 第2四半期累計 決算概況

Ⅱ．2022年3月期 見通し

2022年3月期

第2四半期累計 決算概況

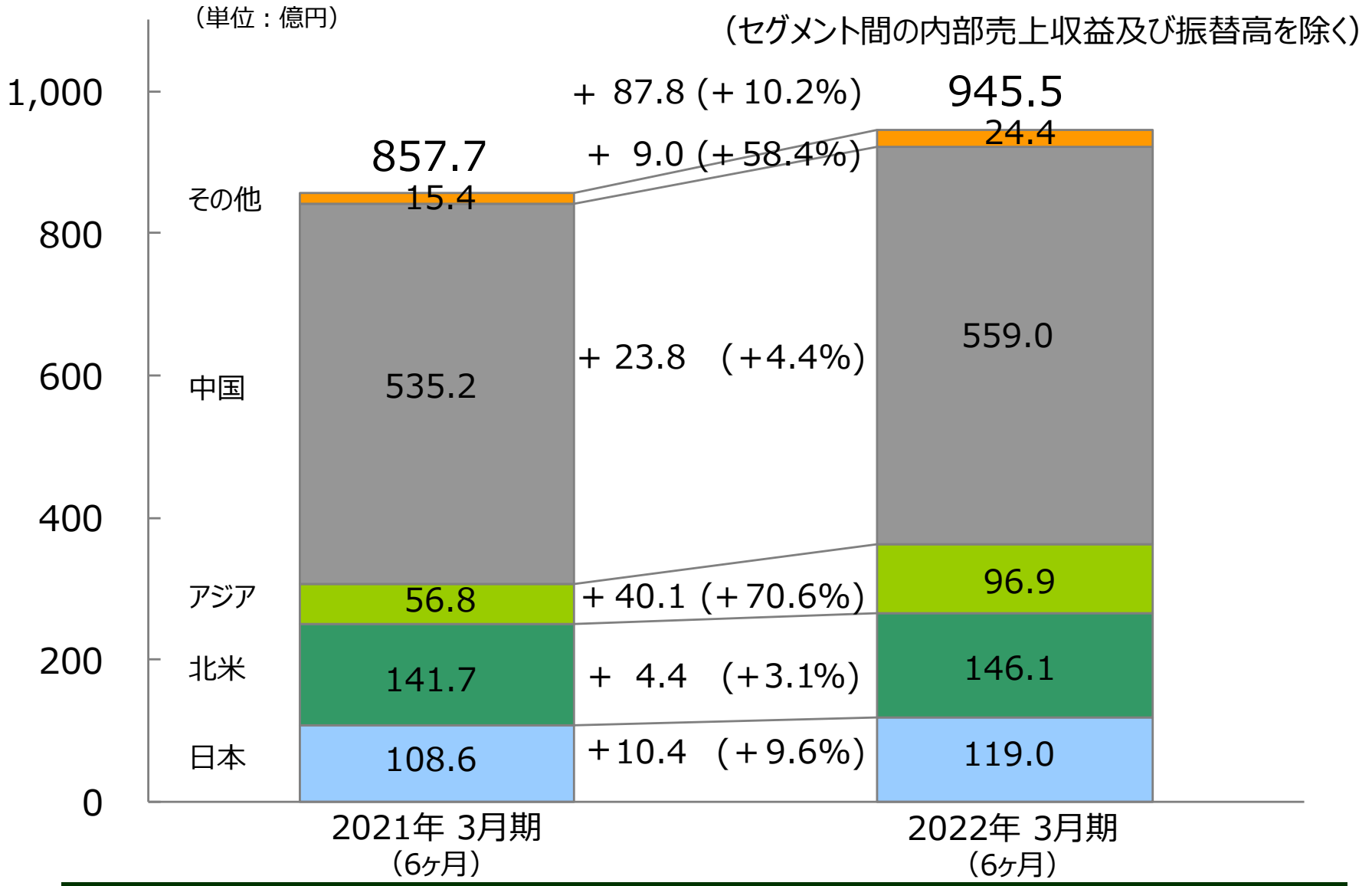
2022年3月期第2四半期累計　連結決算概況

（単位：億円）

	2021年 3月期（6ヶ月）	2022年 3月期（6ヶ月）	増　減
売上収益	857.7	945.5	10.2%
営業利益	12.6	33.4	165.9%
税引前利益	8.5	37.2	335.7%
四半期利益	△12.0	18.0	−%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	△15.4	11.2	−%
基本的１株当たり四半期利益	△103.97円	75.61円	179.58円
１株当たり配当金	0.00円	36.00円	36.00円
	($1=¥ 107)	($1=¥110)	

新型コロナウイルス感染症からの回復に伴う顧客からの受注増により増収増益

2022年3月期第2四半期累計　連結決算概況　地域別売上収益



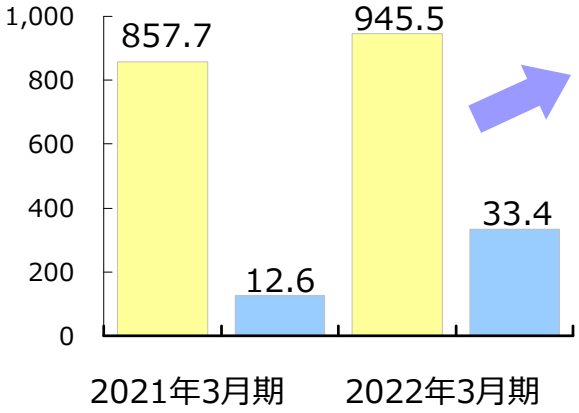
新型コロナウイルスからの回復により全地域で増収

2022年3月期第2四半期累計　連結決算概況　地域別営業利益

（単位：億円）

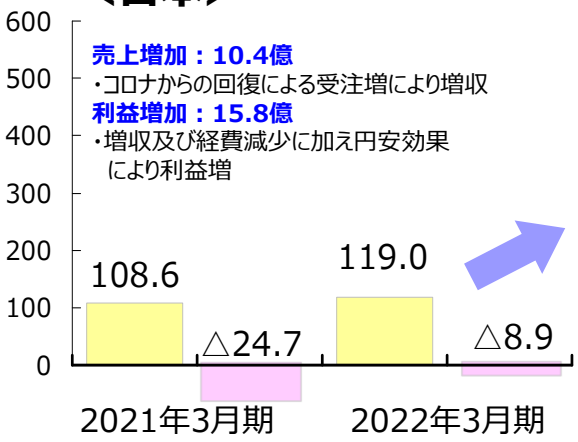
売上収益　利益増減
営業利益　営業損失

＜全体＞



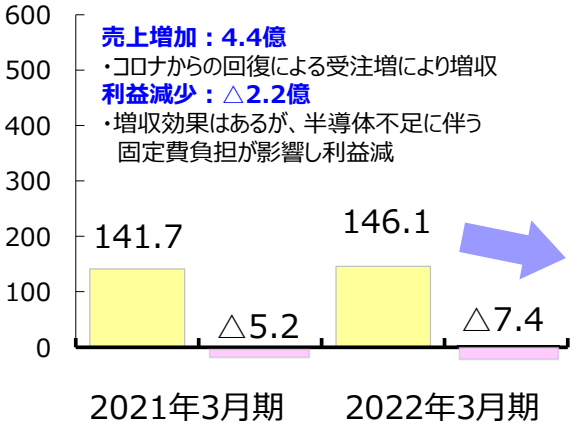
＜日本＞

売上増加：10.4億
・コロナからの回復による受注増により増収
利益増加：15.8億
・増収及び経費減少に加え円安効果により利益増



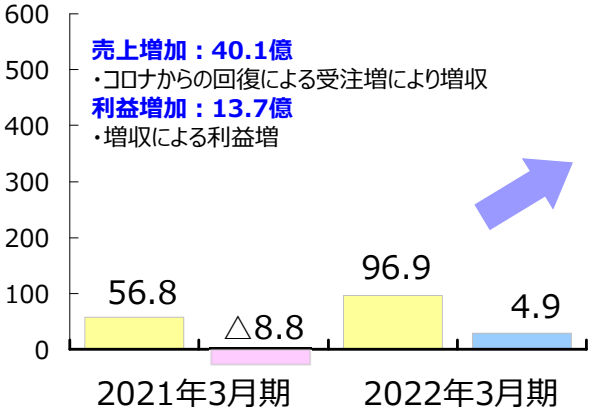
＜北米＞

売上増加：4.4億
・コロナからの回復による受注増により増収
利益減少：△2.2億
・増収効果はあるが、半導体不足に伴う固定費負担が影響し利益減



＜アジア＞

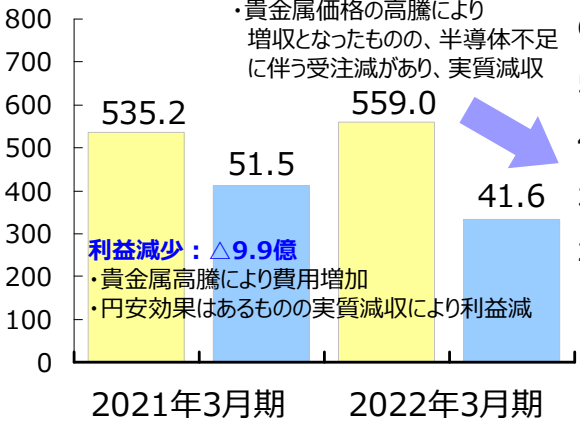
売上増加：40.1億
・コロナからの回復による受注増により増収
利益増加：13.7億
・増収による利益増



＜中国＞

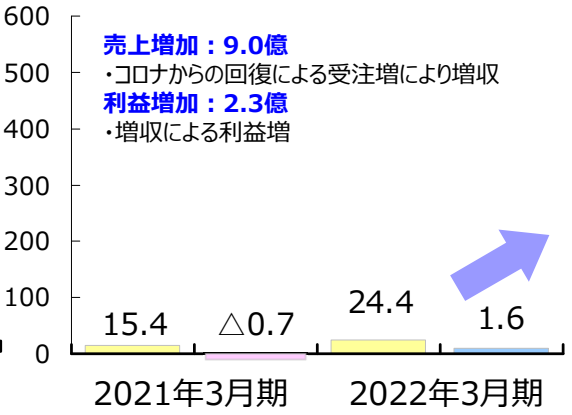
売上増加：23.8億
・貴金属価格の高騰により増収となったものの、半導体不足に伴う受注減があり、実質減収

利益減少：△9.9億
・貴金属高騰により費用増加
・円安効果はあるものの実質減収により利益減



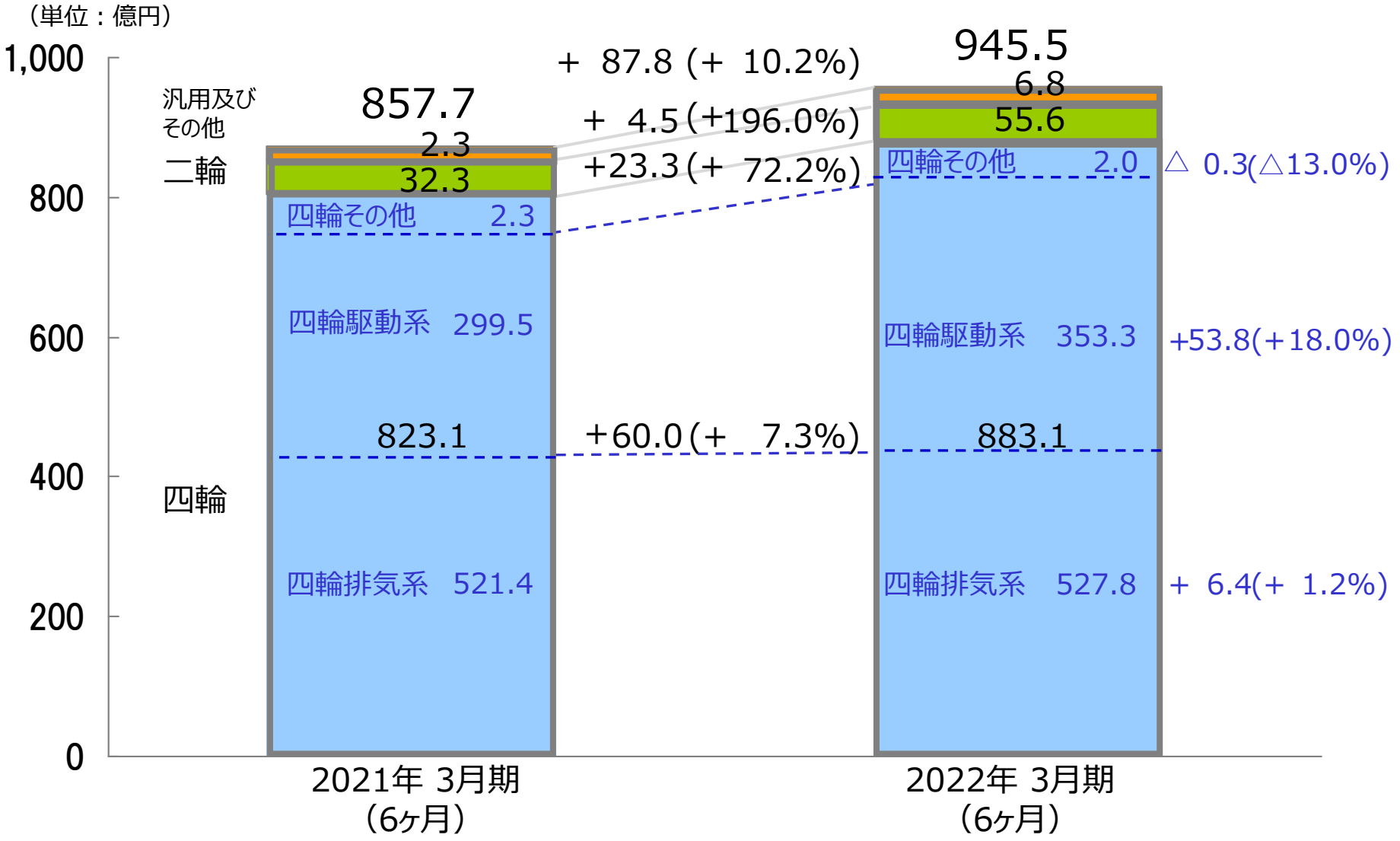
＜その他＞（イギリス・ブラジル）

売上増加：9.0億
・コロナからの回復による受注増により増収
利益増加：2.3億
・増収による利益増



新型コロナウイルスからの回復や円安効果及び前期減損計上に伴う償却費減により増収増益

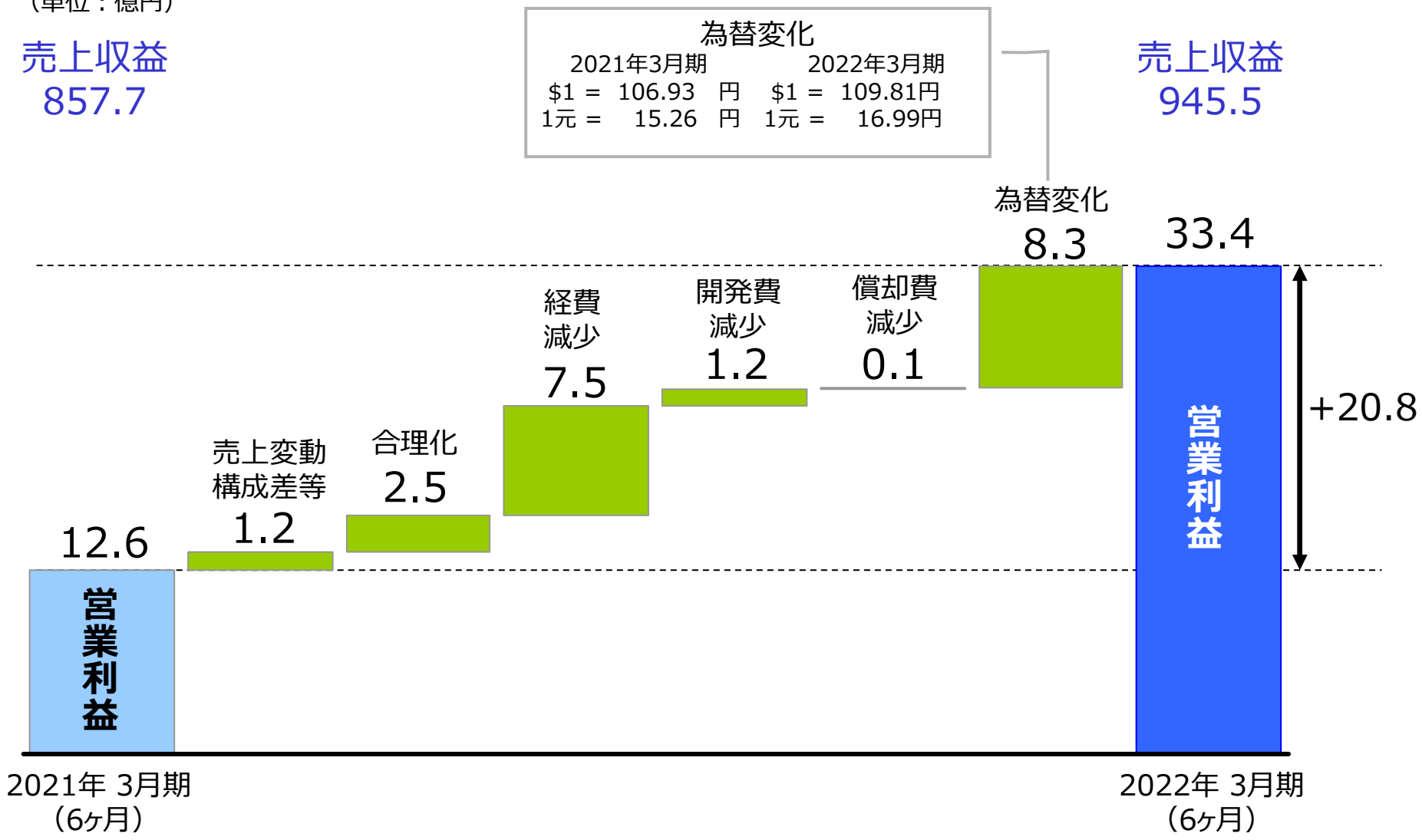
2022年3月期第2四半期累計　連結決算概況　製品別売上収益



四輪、二輪・汎用及びその他の事業で増収

2022年3月期第2四半期累計　連結決算概況 営業利益 増減要因

（単位：億円）



新型コロナウイルス感染症からの回復による顧客からの受注増に加えて
経費減少や為替変化により増益

2022年3月期
通期見通し

2022年3月期連結見通し

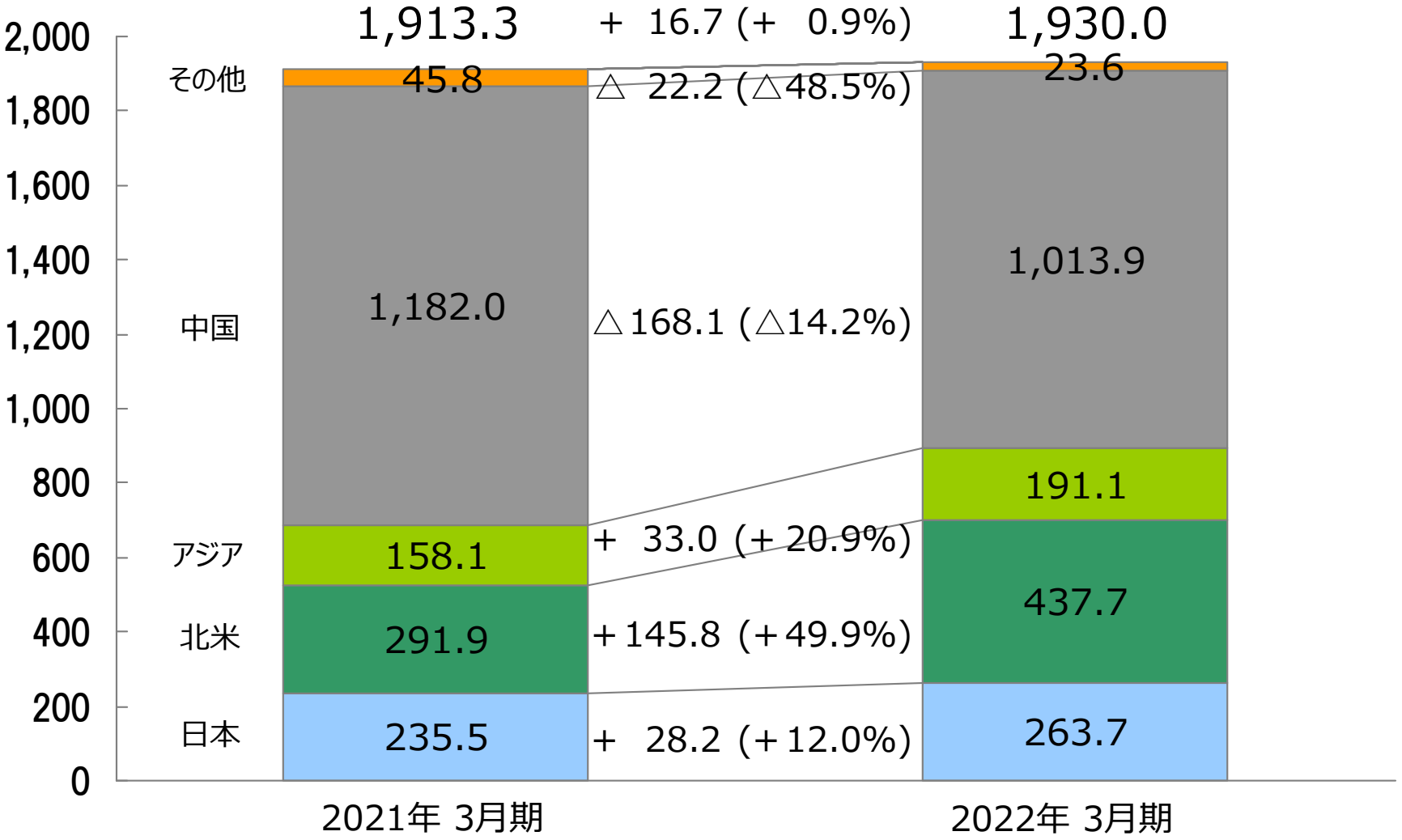
（単位：億円）

	2021年 3月期	2022年 3月期	増　減
売上収益	1,913.3	1,930.0	0.9%
営業利益	36.4	88.0	141.7%
税引前利益	38.4	88.0	129.3%
当期利益	△2.0	51.0	−%
親会社の所有者に帰属する当期利益	△13.3	41.0	−%
基本的1株当たり当期利益	△90.07円	276.69円	366.76円
1株当たり配当金	36.00円 ＊中間 0円，期末 36円	76.00円 ＊中間 36円，期末 40円	40.00円
	($1=¥106)	($1=¥110)	

客先からの受注状況の回復により増収、利益面は、減損損失の影響もなくなり増益となる予想

2022年3月期連結見通し 地域別売上収益

（単位：億円）　　（セグメント間の内部売上収益及び振替高を除く）

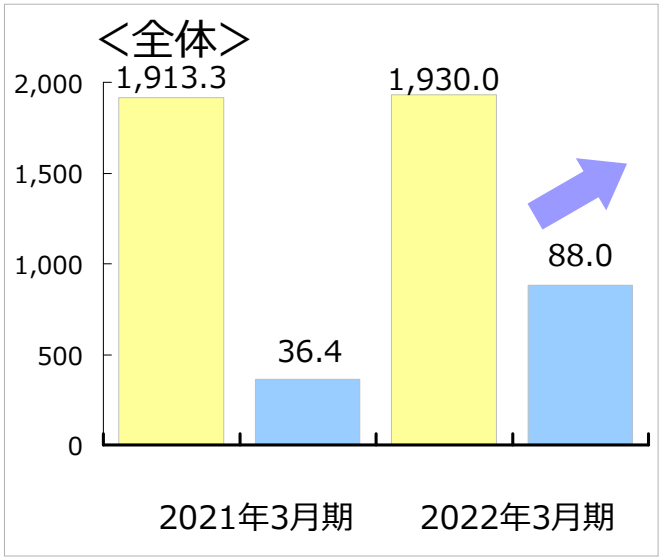


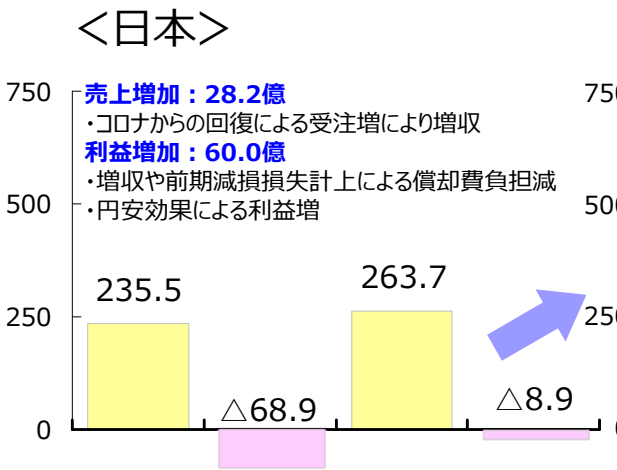
中国・その他地域で減収となるものの、日本・北米・アジア地域では
客先からの受注状況の回復を見込んでおり、増収となる見通し

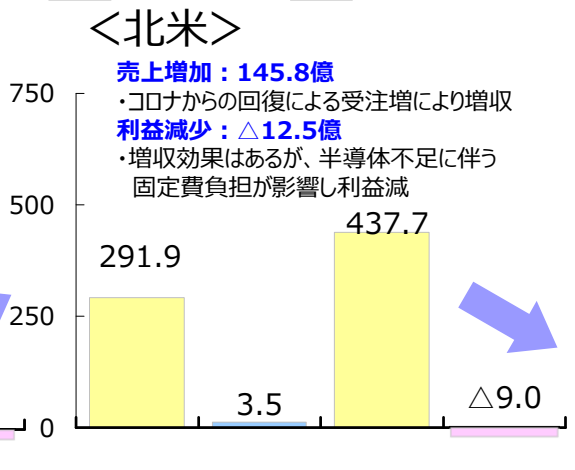
2022年3月期連結見通し 地域別営業利益

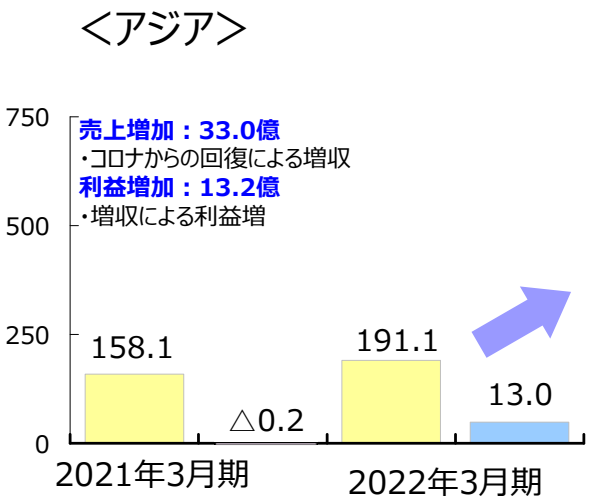
（単位：億円）

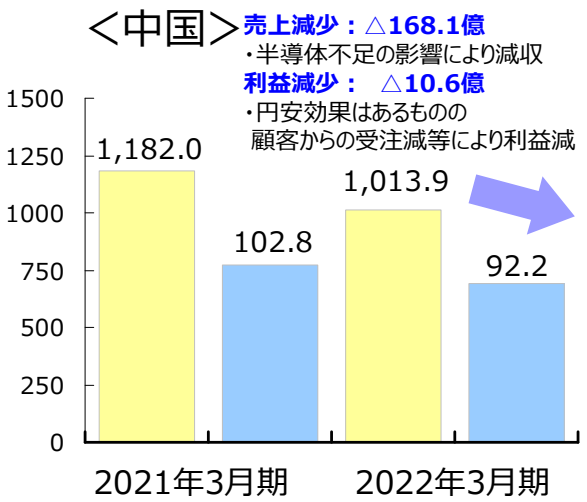
売上収益　利益増減
営業利益　営業損失

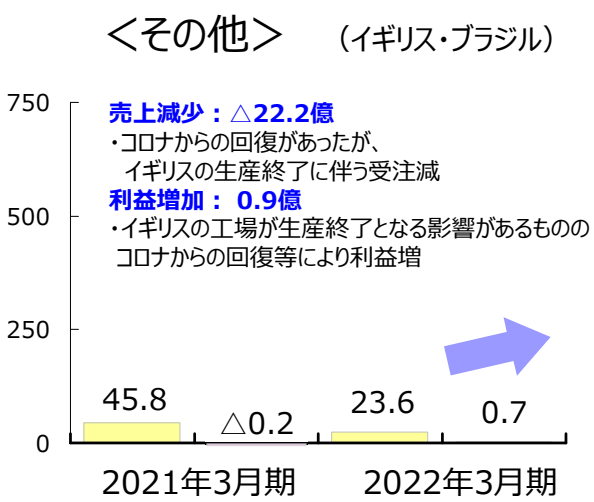






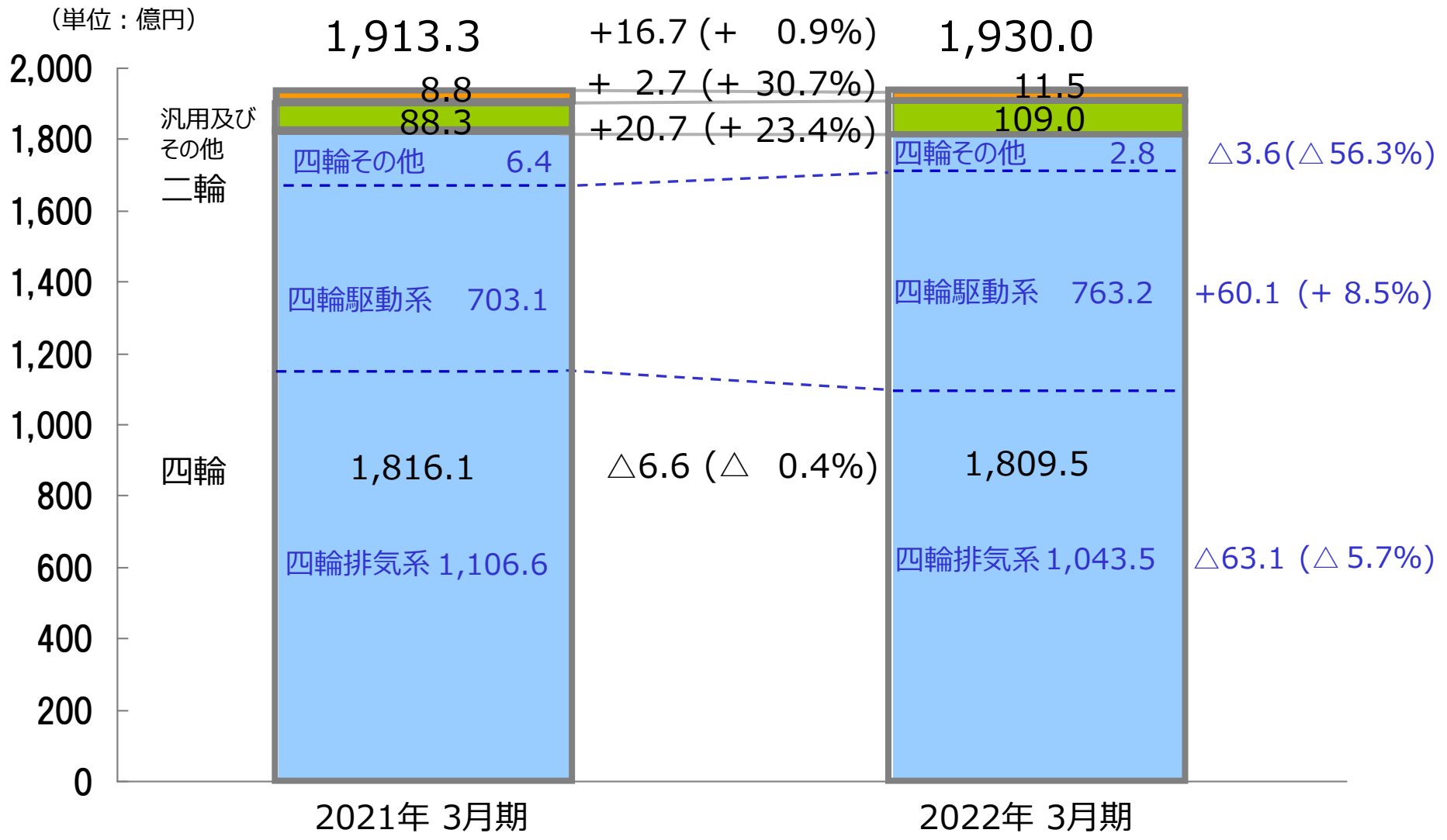






日本・アジア・その他の地域は増益、北米・中国は減益、連結では増益の見通し

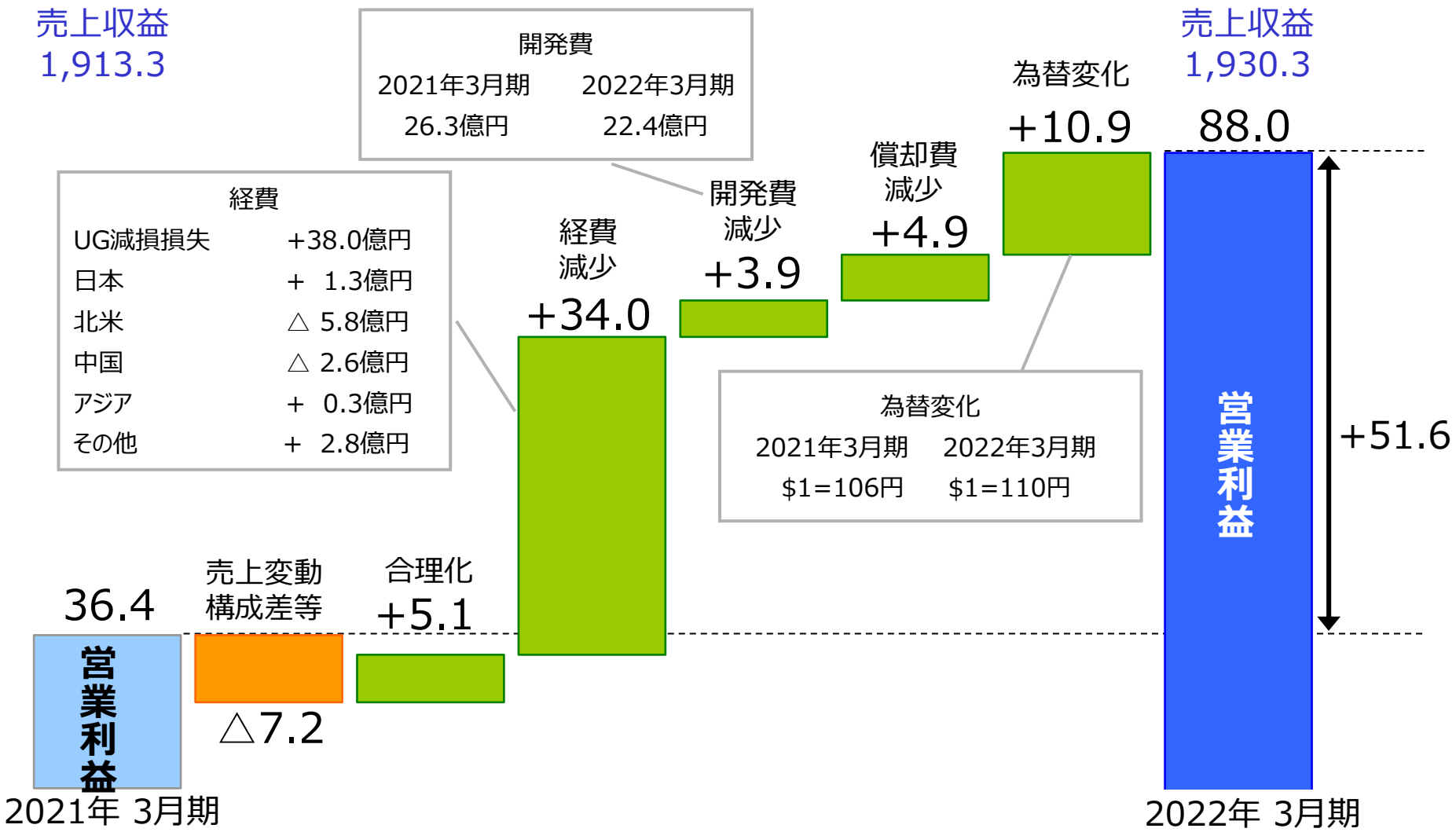
2022年3月期連結見通し 製品別売上収益



四輪で減収、二輪・汎用及びその他の事業で増収見通し

2022年３月期連結見通し 営業利益 増減要因

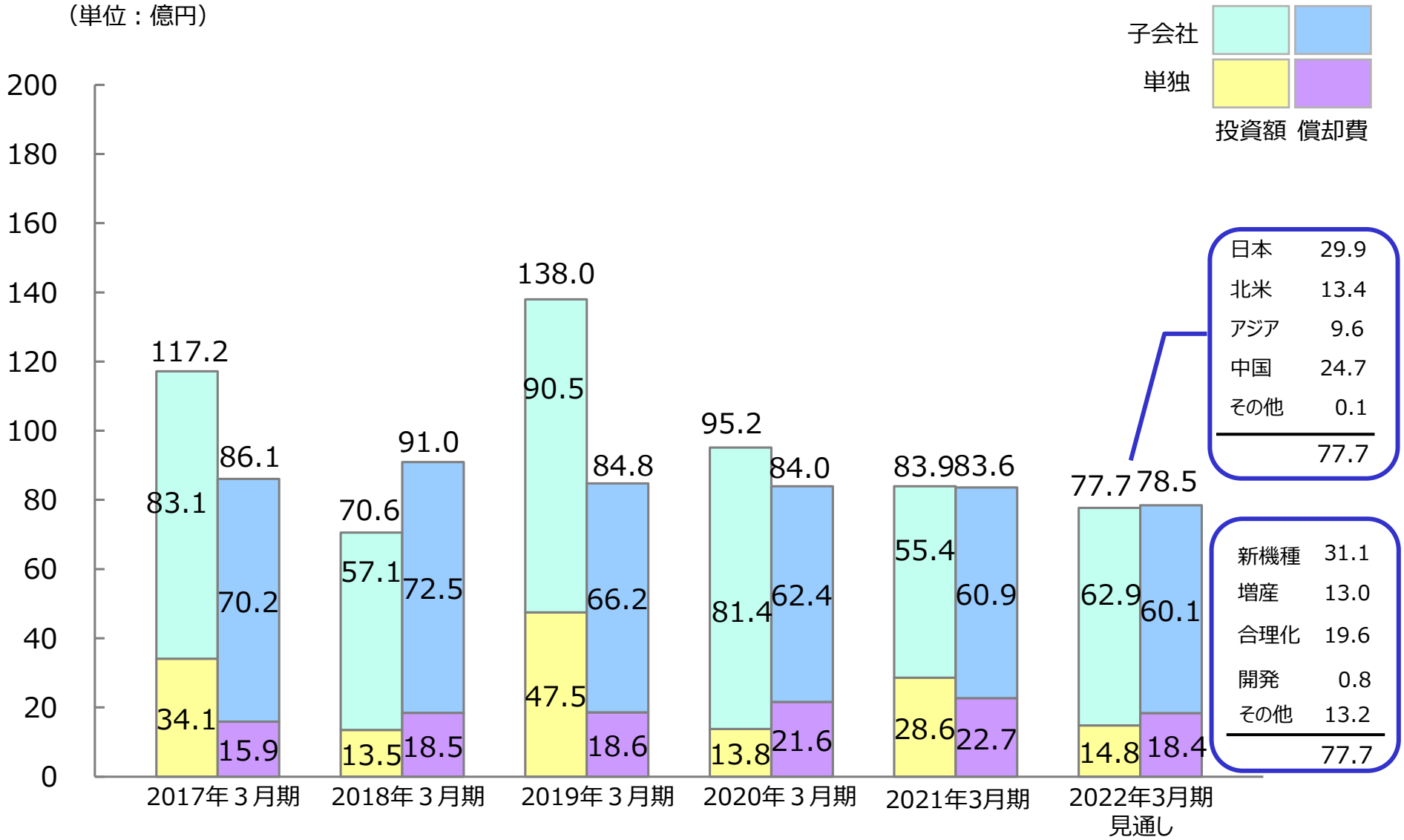
（単位：億円）



中国･その他の減収影響があるものの、日本･北米･アジアの増収効果に加え、
固定資産減損損失の影響がなくなり、増益見通し

2022年3月期連結見通し 設備投資額の推移

（単位：億円）



前期に対し投資減少及び償却費減少の見通し


YUTAKA